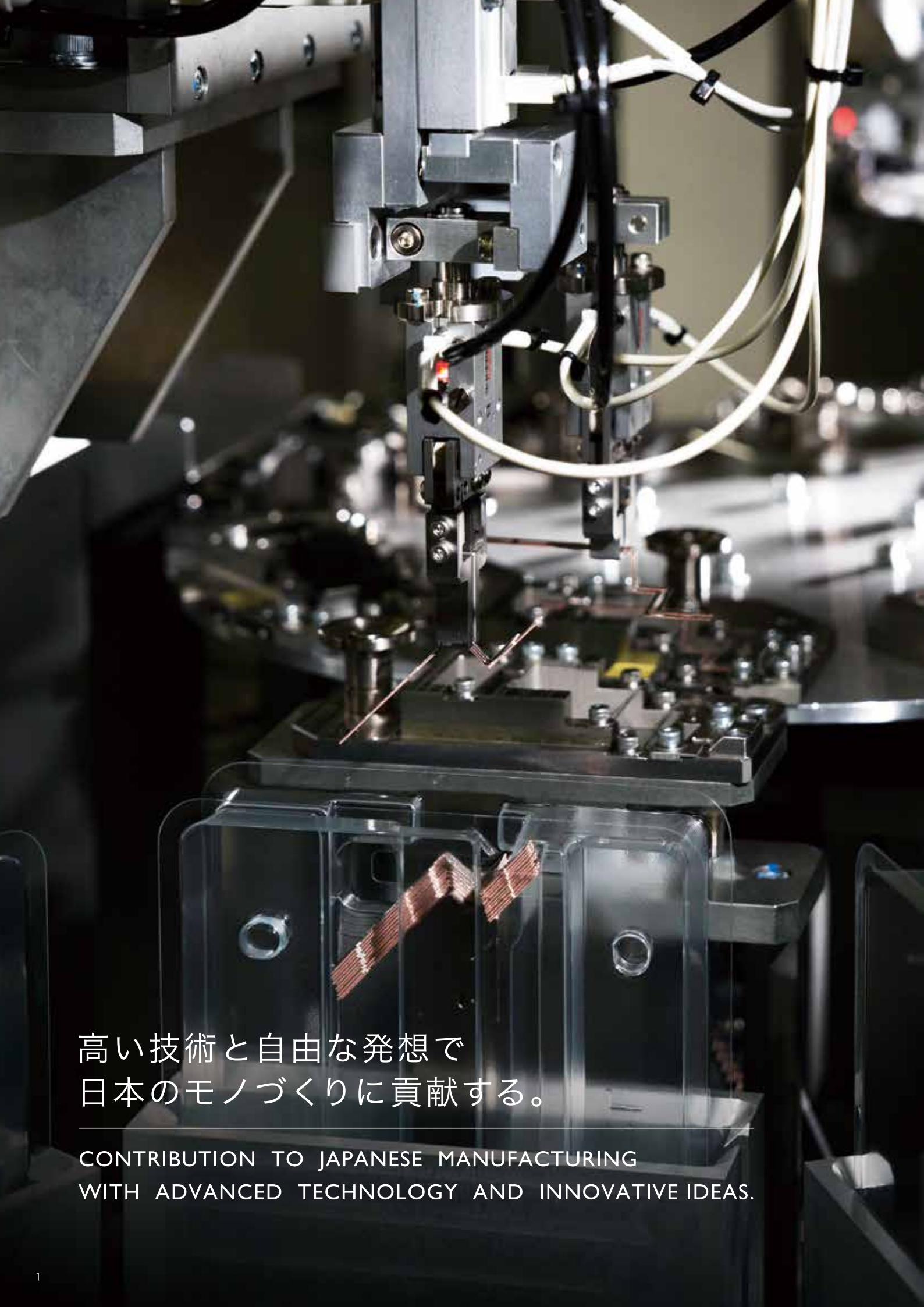




会社案内

CORPORATE PROFILE

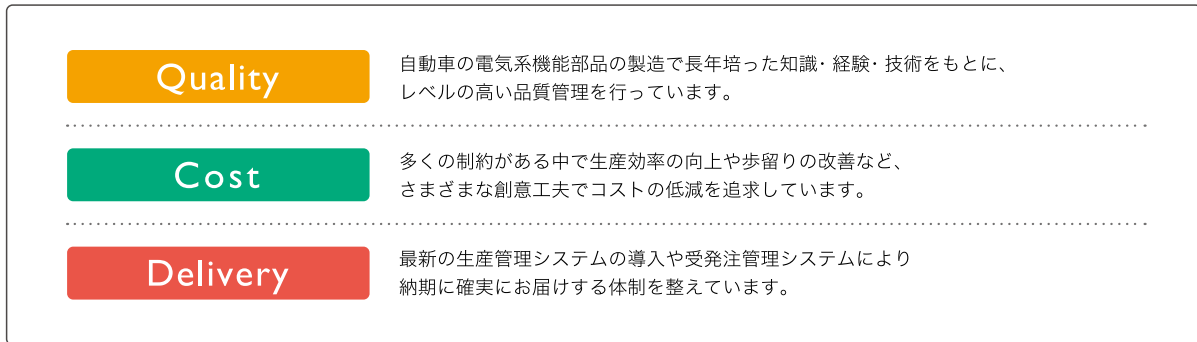


高い技術と自由な発想で
日本のモノづくりに貢献する。

CONTRIBUTION TO JAPANESE MANUFACTURING
WITH ADVANCED TECHNOLOGY AND INNOVATIVE IDEAS.

進化する望月プレス MOCHIZUKI PRESS EVOLUTION

望月プレス工業所は、金属加工のプロフェッショナルとして、つねにより良く、より早く、コスト意識をもち、こだわりのあるモノづくりをしています。QCD、すなわち品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)のすべての要素を追求し、お客さまの満足を超える最高の技術・サービスを提供します。一般的にQCDは、一方を追求すると一方が犠牲になるトレードオフの関係にあります。そのような相反する条件を克服し、QCDすべての向上を同時に実現する自動化技術の導入にも積極的に取り組んでいます。



高品質を支える一貫生産 HIGH QUALITY WITH INTEGRATED PRODUCTION

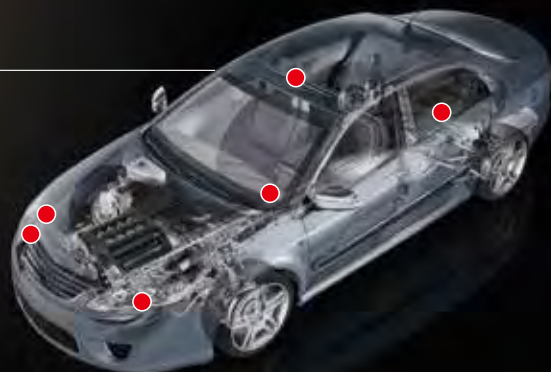
望月プレス工業所の金属加工製品は、金型の設計・製作、プレス加工まで一貫した生産工程のもとに生産されます。高品質で安定的な製品の製造はもとより、工程間の連携によるトレーサビリティ、仕様の修正や変更、迅速なデリバリーを実現します。品質管理から製造現場へ、製造現場から金型設計へと随時、適切なフィードバックを行う体制を整えることで高精度の加工を可能にしています。この一貫した生産体制こそが、最高の技術・サービスの提供につながっているのです。



世界基準の自動車関連製品

HV(ハイブリッド車)、PHV(プラグインハイブリッド車)、EV(電気自動車)、FCV(燃料電池車)の電気部品や高圧電源部品など、次世代技術にいち早く対応しています。

- 電子機器関連部品
- バッテリー関連部品
- LED関連部品
- モーター制御部品
- メーター関連部品
- 電動パワーステアリング部品



信頼の品質基準 G100を目指して

望月プレス工業所が目指す品質基準 G100。完全な製品を100%、お客様にお届けすることがゴールです。G100を達成することこそが望月プレス工業所の喜びです。



製品の製造は、まず生産条件を徹底して確認することから始まります。そして、最先端のプレス関連設備を駆使して製造。製造された製品については、必要に応じて全数検査を行い、個々の製品の測定結果の傾向を把握します。プレス生産に関する一連のデータを管理し、金型設計や金型のメンテナンスにまで適時、適切にフィードバックを行う万全の品質管理体制を整えています。望月プレス工業所が誇る独自の品質保証システムにより、お客様の満足を超える価値を提供します。

金型設計 MOLD DESIGN

より価値の高い提案力

自動車部品の製造で築いた高い加工技術と量産に対応するさまざまなアイデアがあります。試作品の製作段階から、金型の設計をご依頼いただくことで、さまざまな VE提案を行うことが可能です。VE提案とは、Value Engineeringの手法に基づく提案のこと。品質の改善やコストダウンなど、総合的な観点でより価値の高い提案を行います。

【金型設計の特長】

- 試作から量産まで対応
- アッセンブル加工への対応
- 迅速な見積りの提示
- 生産性の高い金型設計



金型製作 MOLD MANUFACTURING

5/1000mmの超高精度

ハイブリッド車や EV車などに使われている自動車部品は、厳密な寸法が要求されます。それらの製品を生み出すためには、超高精度の金型製作が不可欠です。最新鋭の加工設備や蓄積された加工技術、高度な測定装置により、5/1000mmの超高精度の金型製作を実現しています。妥協のないこだわりのあるモノづくりが、金属加工のプロフェッショナル、望月プレス工業所の信頼の製品を創ります。

【金型製造の特長】

- 金型製作に適した環境
- NCプログラムの自動抽出
- 高性能な加工設備を導入
- 妥協のないトライの実施



製品製造 PRODUCTS MANUFACTURING

年産10億個を超える製造力

望月プレス工業所は、多くの製品を、少量から大量まで安定的に生産する体制を整え、現在では、年産10億個を超える製造力を誇っています。最新の設備や技術を積極的に導入し、高品質の製品を生み出すだけでなく、コスト削減や納期に対する信頼にお応えできるよう、つねに進化をしつづけています。

【部品製造の特長】

- 生産能力の高い高速プレス
- 独自金型交換方式の標準化
- コストダウンへの取り組み
- 安全安心の機械設備



生産管理 PRODUCTION MANAGEMENT

信頼のサプライチェーン

お客さまに製品を確実にお届けするため、最新の生産管理システムを構築し、材料の手配から生産計画・梱包・出荷まで、生産のすべてをシステムで管理しています。この生産管理システムでは、求められる QCDを満たすため、つねに金型設計、金型製作、製品製造との連携を図っています。

【生産管理の特長】

- 最新の生産管理システム
- IoTの活用
- トレーサビリティに対応
- 安心の梱包・輸送



最先端のプレス関連設備 ADVANCED EQUIPMENTS



プレス機 200t



高速プレス機 40t



マシニングセンター



研削盤



ワイヤ放電加工機



小径微細加工機



プロフィール研削盤



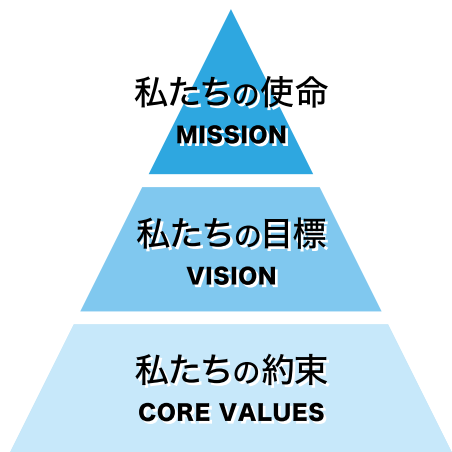
画像検査器



洗浄機



金型自動倉庫



■ 私たちの使命

全社員の幸福を追求し、モノづくりを通して社会に貢献します。

- 社員の仕事のやりがいと誇りを醸成します。
- お客様の満足を超える価値を提供します。
- 協力会社とのパートナーシップで共に発展します。
- 社会の一員として責任と義務を果たします。
- 環境に配慮し限りある資源を有効に利用します。

■ 私たちの目標

金属加工のプロフェッショナルとして、最高の技術・サービスを提供します。

- より良く、より早く、コスト意識をもって、こだわりのあるモノづくりに努めます。
- 能力を高め、熱意をもち、正しい考え方で、何事にもチャレンジします。
- 自ら課題を見つけ、期待以上の成果を創造し、笑顔と感動をもたらします。

■ 私たちの約束

素直、反省、謙虚、奉仕、感謝の「5つの心」を実践し、信頼を築きます。

- 「はい」と云う "素直な心"
- 「すみません」と云う "反省の心"
- 「おかげさま」と云う "謙虚な心"
- 「私が出します」と云う "奉仕の心"
- 「ありがとう」と云う "感謝の心"

ごあいさつ

MESSAGE



弊社は、1893(明治26)年の創業以来、一世紀をはるかに超えて金属加工を生業として参りました。1952(昭和27)年にはプレス加工に特化し、金型の設計・制作、および製品製造、プレス周辺機器の開発を行っています。現在では、我が国の基幹産業である自動車産業を中心に年産10億個を超える金属加工部品の供給をしています。

近年、ハイブリッド車や電気自動車、自動運転車など、自動車産業の進歩はめざましく、これらの普及は、人びとの暮らしを大きく変えようとしています。弊社においても、次世代の自動車部品など、先進の技術に対応できるよう、ICTやロボットによる自動生産ラインの開発やIoTの活用など、技術革新にも積極的にチャレンジしています。弊社では、全社員の幸福を追求し、モノづくりを通して社会に貢献することを経営理念に掲げ、お客様への価値の提供、協力会社様との共存共栄、さらには環境への配慮をとおしてすべてのステークホルダーの皆さまからの信頼を得られるよう日々努力をしています。

金属加工のプロフェッショナルとして、より良く、より早く、コスト意識をもって、こだわりのあるモノづくりに努めることで最高の技術・サービスを提供してまいります。なにとぞ、変わらぬご愛顧とご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役

望月 乙了

Takanori Mochizuki

会社概要 PROFILE

商号	株式会社 望月プレス工業所
創業	明治26年
法人設立	昭和36年6月1日
資本金	1,000万円
代表者	代表取締役 望月乙了
従業員数	60名(男40名・女20名)
所在地	本社 工場 〒437-0021 静岡県袋井市広岡1359番地
電話番号	0538-42-3225
FAX番号	0538-43-2361
施設規模	敷地面積16,250㎡(4,924坪) 工場建坪4,190㎡(1,270坪)
営業品目	順送り金型設計・製作 プレス周辺機器設計・製作 電気・計器部品製造
取引銀行	静岡銀行、三菱UFJ銀行、 みずほ銀行、三井住友信託銀行



沿革 HISTORY

明治26年	静岡市日吉町5の8に於いて望月寅吉(現代表取締役祖父)が創業。建築・家庭用金物の製造を開始する。
昭和27年 5月	自動車用電気部品の製造に切り換える。
昭和36年 6月	株式会社望月プレス工業所を設立(資本金100万円)。
昭和37年 1月	静岡市西脇142に工場新築移転。
昭和39年 2月	榛原郡榛原町に牧の原工場を新設。自動車用計器部品の製造を加える。
昭和44年 7月	牧の原工場を袋井市広岡、精密工業団地内に移転。
昭和55年 1月	事業拡大のため工場を統合、現在地に移転。
昭和59年 3月	望月良尋代表取締役就任。
昭和59年 9月	資本金を1,000万円に増資。
平成 5年 1月	定尺材全自動供給装置付横型プレスの自社開発。
平成 5年 6月	2工程ロボットシステム導入。
平成 8年 5月	全自動洗浄乾燥機導入。(炭化水素系)
平成10年 7月	ISO9002認証取得。
平成11年 6月	在庫・出荷管理にバーコードを導入。
平成15年	ISO9001認証取得。
平成18年11月	ISO14001認証取得。
平成18年 6月	ISO9001認証取得。(認証範囲を拡大)
平成25年 1月	望月プレスベトナム設立(資本金907,000US\$, 100%子会社、ハイフォン市)
平成26年	太陽光発電システム導入(発電容量250kw)
平成27年 8月	望月乙了代表取締役就任。
平成28年 5月	望月プレスベトナムの資本金を2,907,000US\$に増資。
令和 1年 5月	ロボットシステム(インライン検査・整列)導入
令和 1年 5月	年商 48億円 (58期)

海外拠点 OVERSEAS SUBSIDIARY

主力製品の自動車部品市場、各種精密機器市場がアセアン地域で拡大しています。望月プレス工業所では、お客様のニーズにお応えし、2013(平成25)年にハノイ、ホーチミンに並ぶベトナムの中央直轄市、ハイフォンに MOCHIZUKI PRESS VIETNAM CO.,LTD.を設立しました。ベトナム国内をはじめ、発展を続けるアジア各国への輸出拠点として、高品質な製品とサービスをお届けしています。勤勉で、向上心の高い若い人材が豊富なベトナムでは、単に価格だけでなく、日本と変わらぬモノづくりへの誇りを持ち、Made in Vietnamが高品質の代名詞となることを目指しています。





株式会社 望月プレス工業所

〒437-0021 静岡県袋井市広岡1359番地
TEL: 0538-42-3225 FAX: 0538-43-2361
URL: www.mochipre.co.jp

